

# 苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 9 回 定例委員会
日時	令和7年8月20日 自 15時00分 至 16時50分
場所	第二庁舎2階北会議室
出席委員	教育長 山本 俊介 委員 佐藤 郁子 委員 齋藤 智子 委員 岡田 秀樹 委員 高橋 憲司
欠席委員	
会議録署名委員	齋藤 智子 委員
会議録作成職員	総務企画課主任主事 飯塚 菜摘
事務局職員	教 育 部 長 園 田 透 教 育 部 次 長 斎 藤 貴 志 教 育 部 参 事 東 峰 秀 樹 教 育 部 参 事 荒 関 基 高 学 校 教 育 課 長 三 橋 大 輔 学 校 教 育 課 学 務 係 長 千 葉 大 輔 生 涯 学 習 課 長 補 佐 齐 藤 正 幸 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 稻 場 和 宣 総 務 企 画 課 長 下 濱 辰 哉 総 務 企 画 課 主 査 岡 崎 一 樹 総 務 企 画 課 主 任 主 事 飯 塚 菜 摘
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（山本教育長）・・・15時00分
2 会議録署名委員の指名（齋藤 智子 委員）
3 会議録の承認
（山本教育長） 第8回定例教育委員会（令和7年7月25日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
-会議録どおり承認-
4 教育長の報告
（山本教育長） それでは、7月25日開催の第8回定例教育委員会以降の主な事業などについて報告をさせていただきます。
最初に、7月30日、カムチャツカ半島地震に伴う津波警報が発令されまして、委員の皆様も大変驚かれたことと思います。当日の正午頃には、避難所指定になっている市内小中学校、高校等へ1万人強の市民が避難しておりました。その後、避難者は随時帰宅し始めまして、午後4時には避難所を9校に集約し、最終的には、校舎に宿泊する避難市民がいました苦小牧支援学校、東小学校など全部で5校が朝までの対応となりましたが、翌日の午前8時57分に全避難所を閉鎖した次第です。今回の避難者受入れについては、各方面からも、学校側の迅速な対応が素晴らしかったとお話をいただいております。今回は、ちょうど児童生徒が夏休みに入っていたため、大き

な混乱は避けられたかと思いますが、学校側と各避難所開設担当の市職員の情報共有や役割など課題もあったように聞いておりますので、今回判明した課題について、今後災害が無いに越したことはないですが、次回の際に活かしていきたいと考えております。

7月29日から8月3日には第20回全国高等学校選抜アイスホッケー大会（いわゆる氷上の甲子園）が開催されました。今年は20回という節目の年であり、33チームという全国から多くの高校生が参加し、熱戦を繰り広げるとともに、地元高校生や市民と交流を深めるなど、苫小牧の夏の良さを満喫された大会になったのではと思っております。

7月29日には、令和7年度第2回公立高等学校配置計画地域別検討協議会（胆振東学区）がアイビープラザで開催され、出席してまいりました。ご承知の通り、令和10年度に苫小牧西高校が1クラス減となる計画案でありますので、私から、数の原理からは、苫小牧市内の生徒数の減少を考慮した場合に、削減もやむを得ないとは考えるが、西高校は定員割れしているわけではなく、少なくとも西高校1学級減となることにより、市内への進学機会が失われ、その人数分の生徒が市外高校へ流出する可能性も高まり、市民も不便さを感じるのではないかとということ、苫小牧市を含めた東胆振圏域は、ラピダス関連や先進的CCS、大規模データセンター、脱炭素化に向けた再生可能エネルギーや次世代エネルギー関連の新規事業の展開など、全国的に注目されており、東胆振全体でこれらのチャンスを生かせるよう1市4町で連携して取り組んでいることから、これらの社会・経済状況を鑑みると、工業、情報関連など理系学科や英語教育の充実も望まれるところであり、間口削減も進めなければならないと思うが、北海道の先行きを見極めながら、東胆振全体での学級数・学科再編等を考えていくべき。という意見を述べさせていただきました。これに対し、道教委からは、圏域全体を考慮して高校再編・学科再編をすべきとの考えについては、道教委としても同感であり、令和11～14年度の計画策定の際は、圏域での再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の在り方の検討が必要と考えている、との見解が示されま

した。今回の協議会を経て、おそらく計画案どおりに決定されるものと思いますが、少子高齢化・人口減少時代における市内の児童生徒の進路を考慮する際には、高校授業料無償化による生徒の進路選択への影響なども念頭に、高校の在り方について、これまで以上に市教委としても注視していく必要性を感じたところです。

8月1日から3日まで開催された第70回とまこまい港まつりでは、委員の皆様もご対応お疲れさまでございました。ポートカーニバルにおいては勇払中学校の生徒による「勇払千人隊踊り」が華麗に披露されました。当日は日照りが強く、暑い中でしたが、生徒はもちろん、対応に当たられた皆様に感謝いたします。

8月8日には、大雨による洪水被害を想定した令和7年度苫小牧市総合防災訓練が実施され、実際に避難所に寝泊まりする宿泊訓練が青翔中学校体育館で行われました。ダンボールベッドや避難所用パーテーションを使用し、参加された市民や関係者にとっても今後につながる良い体験になったのではと思っております。

8月15日には、令和7年度平和祈念式典が開催され出席してきました。今年も中学生広島派遣事業で戦争の悲惨さ、原爆の恐ろしさを体験してきた市内中学生5人から「平和の誓い」の素晴らしい発表があり、生徒にとっても貴重な経験ができたのではないかと思います。ぜひこの経験を自分の学校においても仲間に伝え、平和の尊さへの思いを広げてほしいと願っております。

最後に、来週8月25日は2学期の始業式ということになりますが、9月に入りますと、中学校では学校祭や文化祭、多くの小学校では修学旅行が予定されており、各学校での教育活動もさらに充実したものになると思います。

まだまだ暑い日が続くと思いますので、児童生徒や教職員の健康管理について十分留意の上、2学期のスタートを迎えてほしいと思っております。

私からの報告は以上でございますが、何かご質問等はございますか。

(一同「なし」の声)

5 議 案
第1号 令和7年度教育委員会点検・評価報告書について
(総務企画課長) ー令和7年度教育委員会点検・評価報告書について説明ー
(山本教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(一同「なし」の声)
(山本教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(山本教育長) それでは議案第1号は原案どおり決定いたしました。
第2号 令和7年度全国学力・学習状況調査結果の考察と公表について
(教育部東峰参事) ー令和7年度全国学力・学習状況調査結果の考察と公表について説明ー
(山本教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(佐藤委員) 一つお伺いします。これから順番に公表されていくということですが、昨年も同じように公表して反省すべきところや良いところを分かりやすく教えてください。その反応についてですが、保護者の方々や、実際に試験を受けた児童・生徒の反応というのはどこかで分かるようになっていないのでしょうか。
(教育部東峰参事) 各学校におきましては、分析結果を公表しております。特に学校評価アンケートや懇談会等で保護者から直接ご意見をいただき、さらに指導の改善

に生かしていくということが行われております。児童・生徒に対しても同じように授業評価アンケートを行っておりますので、これまでの調査結果の分析を基にして取り組んできたことに対して、子供たちの率直な意見を今後の指導に生かしていくと  
いったことを行っております。

(佐藤委員) 新聞で扱う時に、時間差でまた改めて扱う新聞もあるものですから、それを見た時に「自分たちはどうなのかな」という素直な感想はどこかに届くのかなということですね。それから家庭・保護者の感想、あと地域と一緒に子供を育てましょうということですから、地域の方もどのように思われているのかななどですね。そういうところが分かる方法がありましたら、令和7年度に公表された後もどのような反応があったのかというのは知りたいと思うところでありますので、お伺いいたしました。

(教育部東峰参事) 各学校から寄せられた意見を集約し、また委員の皆様にご提供したいと思います。よろしくお願いいたします。

(佐藤委員) 児童・生徒が自分たちの頑張りに対して、全国的に見て成績が落ちて  
いるという現状にがっかりしているのか、「頑張ったのに」と言っているのかという  
当事者たちの声も知ることができたらいいなと思っています。

(山本教育長) ほかにございませんか。

(齋藤委員) お伺いしたいのですが、私たちが受けていた教育と違って、昔はトッ  
プダウン式の授業でしたが、現在は子供たち一人一人がいろいろなものを読んだり、  
資料を集めたりしながら、自分で考えて自分なりの答えを導いて友達と共有したりす  
ることで、学んでいくというスタイルに定着してきたかなと思います。そういう学び  
方をしていることによって、読むことや情報分析することがたくさん身について、そ  
ういう面が少しずつ伸びていくものなのかなと思っていたのですが、全国平均と比べ  
てどうも落ちている。これは全国的なレベルは上がっているけれども、なかなかそれ  
に追いついていない状態で開いているのか、苫小牧だからうまくいっていないのか。  
テストとなると数字には結びついてはいないけれども、そういう力というのは点検評

価でも見ているのですが、ついてきているかなと思います。それがなかなか反映されないということは問題として、どういう点が考えられるのでしょうか。

(教育部東峰参事) まずはこの全国のレベルが上がっているのか、高いのか低いのか。正直把握しきれておりませんので、これは確認をしてみたいと思いますが、苫小牧の子供たちについても、確実に授業改善は進んでいると思いますので、そういった力はつけてきていると思います。ただ、前回の教育委員会でもお示ししましたとおり、まだまだ教え込みによる古いタイプの授業も残っており、全体的に上がっているというところまではまだ行き届いていないのかなと思っております。昨年度から新しい授業のスタイルによる取組を進めておりますので、これからさらに全体的な底上げが図られるよう、まずはチャレンジしていこうと先生方もやっていっているところではあります。全ての先生方がチャレンジをして、子供がそのチャレンジに応じて力をつけていくというところで、もう少し時間をかけながら見ていきたいというふうに思っております。

(齋藤委員) わかりました。ありがとうございます。

(山本教育長) ほかにございませんか。

(一同「なし」の声)

(山本教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(山本教育長) それでは議案第2号は原案どおり決定いたしました。

第3号 苫小牧市立学校医療的ケア児実施要綱の策定について

(教育部東峰参事) 一苫小牧市立学校医療的ケア児実施要綱の策定について説明一

(山本教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(高橋委員) 内容に関しましては、昨今の流れから理解はするのですが、そもそも

これがなかったときに何か問題が生じた事案はあったのかということをお聞きした

かったのと、あと現在、苫小牧市内では全体的に何人ぐらいのお子様がいらっしゃる

のでしょうか。

(教育部東峰参事) この策定以前は、市教委の担当、それから各学校と医ケア児の

保護者の方々、主治医とも協力して進めてまいりましたが、とにかく学校にかかる負

担が大きかったように思っております。それが一括的に、担当部署の職員が一堂に会

して共通理解を図りながら一体的に進めることで、より丁寧で取りこぼしのないケア

ができるものと考えております。

(学校教育課長) 現在、医療的ケアが必要な児童については小学校で4名、今いる

状況です。そこについては、看護師資格を持った介添員を配置してケアを行っていま

す。

(高橋委員) 人数については分かりました。先にご質問させていただいた内容に関

して、何かトラブルがあったという事案はありますか。

(教育部東峰参事) そういったことは特にありません。

(山本教育長) ほかにございませんか。

(佐藤委員) 保護者の方が、より安全に学校に通わせることができるようになるの

ではないかと思い、期待しております。小児科の相談員というのは、例えば市立病院

へ行けば小児科にいらっしゃるかと思えます。この中の有資格者というところの括り

なのですが、看護師以外に何か資格が必要なのでしょうか。2ページ、3ページにあ

るのですが、有資格介添員がどんな資格を持って、一緒に勉強したり生活したりする

のかが読んでいて少し分からなくて、申し訳ありませんが教えていただきたいと思

いました。

<p>(教育部東峰参事) 実際に医療的ケアを実施するということになりますので、看護師または准看護師の免許を持った介添員です。</p>
<p>(佐藤委員) このヒヤリハットというのがあった後で、ふと思って出てくることに対応する時もあるので、介添えをするための何か別の資格を持っている人がやるのかなと思ったものです。そうではなくて、医療の准看護師、正看護師というところですね。</p>
<p>(山本教育長) ほかにございませんか。</p>
<p>(佐藤委員) あともう一つ、すみません。今、いろんなところで注目されていて話題になっています医療的ケア児への対応の仕方です。学校に行かなくて、病院以外の民間のところで見ているようなことも、もちろんありますけれど。例えば人数の制限について、将来的に苫小牧だったら受け入れられるかどうかとか、それらの点をどうお考えになっているのでしょうか。一人でできないということであれば、介添員の人数がまた多くなりますし、勉強や体育を見たりする際にも人の力が必要になってくるものです。学校でどのくらいまで受け入れられるのかというようなところについては、これから先のことだろうと思えますけれど、お考えになっているかどうかというところだけで結構ですので、教えていただきたいです。</p>
<p>(教育部東峰参事) 現在、具体的にそのこのところまで規定してはいないのですが、ただ実際、その受け入れにあたって医療的ケア運営協議会を開催しまして、どこまでできるのか、できないのかを明確にしてから、受け入れ体制を整えていくというふうに進めていきたいと考えております。</p>
<p>(佐藤委員) 先のことについて、いろいろ考えていただかなければならないことがあるのだろうなと思いながら、ちょっとお伺いしました。</p>
<p>(山本教育長) ほかにございませんか。</p>
<p>(高橋委員) ちょっと細かいことになりますけど、14ページの報告書の中身で、ケア内容に関しては3点あります。尿の排せつケアなどの医療ケアについては明記されていないですが、これはその他のケアということではよろしいでしょうか。</p>

<p>(教育部東峰参事) 最初はですね、導尿や排便も含めて記載したのですが、そのあたりは「その他」にしてほしいという希望がありましたので、そのように記載しております。</p>
<p>(山本教育長) ほかにございませんか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(山本教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(山本教育長) それでは議案第3号は原案どおり決定いたしました。</p>
<p>第4号 令和8年度使用教科用図書採択について</p>
<p>(学校教育課長) ー令和8年度使用教科用図書採択について説明ー</p>
<p>(山本教育長) それではまず小学校及び中学校ともに今年度使用している教科書を令和8年度も引き続き採択でよろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(山本教育長) 次に、特別支援学級については、今回追加された8冊の一般図書も含めて、全て採択するということよろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>

(山本教育長) それでは原案のとおり採択いたします。事務局から連絡事項等がありましたらお願いいたします。
(学校教育課長) それでは確認事項ですが、小学校用および中学校用の教科用図書につきましては、現在のものを更新して採択し、次年度1年間引き続き使用するということと、特別支援学級用の教科用図書につきましては、全て採択というふうに確認させていただきたいと思います。また、採択した教科書や採択理由などにつきましては、後日、ホームページの方で公表させていただきたいと思います。以上でございます。
(山本教育長) それでは、議案第4号は原案どおり決定いたしました。
議案第5号 教職員の事故に関する処分内申について
議案第6号 令和7年度苫小牧市文化賞・文化奨励賞の選考について
議案第7号 令和7年度教育費補正予算について
(山本教育長) 次に、議案第5号から第6号については、人事案件であること、議案第7号については市議会に提出し審議予定の案件で、招集告示前に公開することは適切でないことから、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、本会議の日程の最後に審議したいと思いますが、よろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(山本教育長) それでは、議案第5号から第7号を秘密会とし、本会議の日程の最後に審議することに決定いたしました。
6 報告・協議

報告（１）令和６年度苫小牧市学校給食会会計決算について
（学校給食共同調理場長）－令和６年度苫小牧市学校給食会会計決算について説明－
（山本教育長） 質疑に付します。何かございませんか。
（高橋委員） 今回の決算の２カ月分の土台に関することについては、会計の関係はよく理解しました。未収部分の関係で大体３％から４％位、毎年あるのは存じていたのですが、過年度分で１，８００万円位もありまして、これの最終的な処理を今までどういう形で行われてきたのかを教えてくださいましたか。
（学校給食共同調理場長） 未収入処理のところですね。収納担当の職員がおりまして、そのご家庭にお電話したり、手紙を出したりして、少しずつでも収納していただく形で継続しながら、なんとか納めていただくという対応をしております。
（高橋委員） それはもうずっとやられることですか。聞いたかったのは、ある程度の時間がたったらもう徴収しないという方向に向かうこともあるのかだけでも知りたかったです。
（学校給食共同調理場長） 基本的には、債権放棄するということは、現在はしておりません。今後、だからと言ってずっと何十年もそのままにいるというふうにはならないと思いますので、その辺りは内部でも整理をしており、法的な対応も含めて、もう少し収納を強化できるかどうか協議していこうと思います。
（高橋委員） 実際に徴収するにあたり、また経費がかかることもありますし、金額などで何かを分けることも難しい問題が生じるということも理解していますけれども、一定の考え方をちゃんと何かの機会に伝えられるようにした方が良いのかなと思ってます。
（山本教育長） ほかにございませんか。
（佐藤委員） １点、すみません。支出のところの予備費ですが、当初予算より補正額が随分上がって多くなっておりますけれど、どのようなところに使うのか、そういうこともお話しされていたのであれば、聞き逃したかもしれませんので教えてください。

い。

(学校給食共同調理場長) 予備費ですね。当初予算の際は前年度からの繰越額がまだ確定していないということで、令和6年度ですと100万円ということで、まず当初予算を見まして、前年度確定したときに、補正予算で繰越額が決定したものを予備費に補正しているといったところです。

(佐藤委員) 特に何に使うとか、そういう目的でということではないと理解してよろしいでしょうか。

(学校給食共同調理場長) はい。そうですね。

(山本教育長) ほかにございませんか。ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(山本教育長) それでは、報告第1号の質疑を終結いたします。

#### 報告(2) 教職員の事故に関する処分について

(山本教育長) 次に、報告第2号についてですが、人事案件であることから、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、本会議の日程の最後に説明したいと思います。よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(山本教育長) それでは、報告第2号を秘密会とし、本会議の日程の最後に説明することに決定いたしました。

これより、秘密会と決定しました議案第5号から議案第7号、報告第2号について議題といたします。関係者以外は退席をお願いいたします。

7 その他
(山本教育長) 次に、その他でございますが、事務局、委員の皆様を含めて、何かございますか。
(高橋委員) この場が正しいのか分かりませんが、前回の津波に関する事案で、市の方の対応がいろいろあったと思います。その時、市民の方々から何か「こういうふうにした方がいい」といった注意喚起があったかどうか、お教えいただければと思います。
(教育部斎藤次長) 今ですね、危機管理室の方で取りまとめていますが、ものすごくたくさんのご意見をいただいております。まだまとめきれていないのですが、この後の議会でもかなりのやり取りがあると聞いています。学校としても避難所になり、いろいろと課題も見えております。学校からの意見は教育委員会で集約させていただき、整理しておりますので、次に繋げたいと思います。どこかの段階で委員会にも報告させていただければと思っておりますので、もう少し時間をいただければと思います。
(山本教育長) ほかにございませんか。
(一同、「なし」の声)
8 委員会閉会の宣言 (山本教育長)・・・16時50分